

# 麻生多摩美の森だより

第 8 号 2005 年 3 月 29 日発行 発行 ; 麻生多摩美の森の会  
発行責任者 ; 勝田 政吾 編集者 ; 木村 信夫

## 2005 健康の森フォーラム in さいわい 報告

副会長 平林謙三

平成 17 年 2 月 19 日(土)幸区の日吉合同庁舎で『健康の森フォーラム in さいわい』が行われました。当日は生憎の雨でしたが、室内での行事に差し支えはなく、展示用の機材を詰め込んだ車を運転する長澤さんに同乗し合計 5 名で日吉目掛けて出発しました。

日吉合同庁舎は加瀬山の南麓にあります。付近は道路が複雑で少し迷いましたが、一時間程で無事会場に到着、午前中に飾りつけを終わりました。

近所の食堂で昼食後、1 時半からフォーラムが始まり、夕方和やかな交歓の後に解散、再び長澤さんの車で帰ってきたときにはすっかり暗くなっていました。

フォーラムは『地球温暖化防止をみんなで考えよう』というキャッチフレーズの下で、『森と生物の共生』をテーマにして行い、“さいわい加瀬山の会”代表小泉さんの、「京都議定書が発効し、これからは益々自然を大切にしなければならない」という格調の高い挨拶で始まりました。

次に、阿部市長が、「緑を守り、育てるために皆さんが努力し、それぞれ成果を上げてきました。一番変わったのは川崎区の花の森で、12 月にはロータリークラブの寄付で植えた河津桜が咲き、風力発電所も完成しま

した。」という話をされました。

### ● 夢見ヶ崎動物公園・園長講演

案納(あんのう)氏

地球温暖化の影響で、東京の温度はこの 100 年間に 3 も上がった。東京湾の海面は 30 年間で 30cm 上昇、染井吉野の開花も 3 日早くなった。人が住める地球はあと 100 年で終わりという説もある位で、消費文明の付けが回ってきているので早く手をうたなければならない。このフォーラムの意義は素晴らしい。

毎年、9 月 20 日から 26 日が動物愛護週間で、人と動物との触れ合いを演出する。その趣旨は、沢山の動物は、みみず、蜜蜂、鳥などが食物連鎖の循環系を作っており、犬や猫などのペットも含め、人間生活に欠かせない存在であることを認識して貰うことです。私が気に入っている動物愛護週間の標語は「動物も皆友達、地球の仲間」です。

加瀬山は 6.6 ヘクタール、そのうち動物公園は 2.1 ヘクタール、元は里山の雑木林だったが、今は 90 種 5000 本の木が植えられている。うち 500 本は染井吉野です。加瀬山にはモグラ、コウモリなどの哺乳類がいる。アオダイショウ、トカゲ、カナヘビ、ヤモリなどの爬虫類もいる。アオダイショウは動物園の

鳥の卵を食べてしまうので、年間 20 匹位捕獲している。昆虫はブナの木が多いのでカブトムシ、クワガタ、スズメバチなどがいる。

また切り倒したクヌギで椎茸を栽培している。桜の木も切ったのでヒラタケを栽培している。これは輪切りにして糠と菌を混ぜて塗る。

面白いのは、ごみ捨て場の近くから 5～6cm 位の大きなキノコが採れたこと。食べられるのかどうか迷ったが、食べてみたらとても美味しかった。これは大きなホンシメジだった。加瀬山は素晴らしい山です。というお話でした。

### ● 展示会の印象と各区発表

例年のように各区の昨年度の活動の様子が会場の壁に沿って写真などで張り出され、その前に置かれた机には色々な成果品が展示されました。7区それぞれに特徴があって異なっているが、全ての区で子供が生き生きと活動している写真が張り出されていたのが印象的でした。

#### <麻生区“麻生多摩美の森の会”長澤さん>

麻生区の市民健康の森は、西は多摩美のふれあいの森、東はこもれびの森に挟まれた面積 1.2ha の小さな里山公園です。今年は孟宗竹を切ってきて囲いを組み、小学校の子供達とかぶと虫のお宿づくりをやりました。またルリピタキが来て、じっと我々を睨んでいたのササヤブを刈るのを止めました。その他麦や里芋などの収穫、植樹祭・収穫祭、炭焼きなどの活動を行いました。

#### <多摩区“日向山うるわし会”田中さん>

多摩区の健康の森は日向山にあり、面積は

4.5ha です。東側に府中街道、南側に世田谷線があり、それぞれ一日に 5 万台の車が通ります。日向山うるわし会には近隣の 5 町会から役員が出ています。里山としては昭和 23 年位迄は雑木を切って燃料にしていたが、その後 40 年以上放置していました。生い茂った篠竹を大体切り終わったところです。

#### <宮前区“水沢の森人の会”堀込さん>

都市緑化基金の助成金でチョッパー、チェーンソーなどを買いました。安全対策として年に一、二回講習会を開いています。

昨年 10 月に西地区を一般開放したのでオープニングセレモニーを行いました。中学生のプラスバンドの演奏もあり、約 300 人が集まりました。一般開放に当たって 7 項目のルールを作り、ペットは立ち入り禁止にしました。（東地区は立入り OK）

#### <高津区“市民健康の森を育てる会”

山田さん>

高津区の健康の森は 7.3ha あります。散策路は完成しました。炭焼き教室をやっています。活動は毎週 2 回、毎週木曜日と第 1・第 3 土曜日、第 2・第 4 日曜日です。



## ＜中原区 “市民健康の森を育てる会”

入沢さん＞

今年はオオムラサキの飼育に成功しました。また小川にホタルを放流しました。7月31日、8月1日箱根で一泊研修会を実施し、男子8名、女子7名、計15名が参加しました。初日は雨で現地研修は出来なかったが、翌日は晴れて付近を歩き回る事ができました。椎茸は自宅に3本ずつホダギを持ちかえて栽培しています。

## ＜川崎区 “海風の森をMAZUつくる会”

信楽さん＞

海風の森にタブ30本、水仙などを植えました。ビオトープも出来ました。風力発電設備も出来、少しずつ整備が進んでいます。

## ＜幸区 “さいわい加瀬山の会” 中辻さん＞

加瀬山は昔、東京湾に浮かぶ島だったことがあります。周辺に貝塚があり、古墳の跡もあります。健康の森はこの加瀬山の北の端にあります。わんぱく広場で植樹をしました。加瀬山通信を春、夏、秋、新年号と年に4回出しています。

以上で各区の発表を終わり、別室に移動して懇親会を行いました。懇親会では先ず平山区長との挨拶と乾杯があり、その後約1時間にわたり、和やかな交流と懇談を行い、16時半に閉会しました。



麻生区の展示ブース

## “冬の森の観察会” 開催される

副会長 長澤宗幸

多摩丘陵の一角に位置する細山・金程地域は、今から半世紀前ころまでは典型的な農村地帯であり、「麻生多摩美の森」を初めとする里山は、家庭の燃料や、農地を肥やす堆肥源の確保など大変有効に利用されてきた。

麻生多摩美の森には現在、様々な樹木が茂っているが、多摩丘陵特有の樹種もあれば、野鳥などの媒介で居着いた新顔の樹種もある。当会では、日常管理や植樹祭での樹種名札つけなどの活動を進めるなかで、森の実態をもっと知る必要があるのではとの問題意識が生まれ、木の学習をしよう、観察方法も身に付けようと、森の専門家、東百合ヶ丘在住で樹木や野草に大変詳しい高橋さん（写真中央）をお招きして、第1回観察会を開催した。

内容 “冬の森の観察会”

日時 平成17年2月6日（日）10～12時

講師 高橋英氏（自然観察専門員）

ふつう樹木観察は、春から夏の時期が良いとされているが、冬ならではの観察の楽しさ・面白さがあることが分かった。それについては、次頁の記事をご覧ください。

当日は天候に恵まれ、絶好の観察日和で、多数の会員が参加した。あっという間の2時間で、多摩美の森の東側と北側中心の観察となったが、自然界の豊かさ・不思議さを勉強することができた。今後、四季折々の森について観察・学習を重ねていきたいと、夢を膨らませて、観察会を終了した。



## 冬の木々を観る楽しみ S.O生

これまでは、木を見分けるのに、樹形や樹肌、枝ぶり、芽吹き、花などを見て判断するものと思っていたが、今回高橋さんのご指導で、冬芽には植物が生るための知恵が込められていることなど、実に興味深いことを教えていただいた。いくつかをご紹介します。

### ● 主芽と副芽（予備芽）

順調に行けば主芽がズーッと成長し、副芽は消えていく運命にあるが、厳しい寒さで主芽が傷んだり、虫に食われたりしたときには、いよいよ副芽の出番となって役割を果たす。アカメガシワ・エゴノキ・ムラサキシキブなど。

### ● 鱗芽と裸芽

冬芽は寒さ・乾燥・虫食いなどを防ぐため、芽鱗で身をおおって守っている。これを鱗芽という。ただし、暖かい地方に生える樹木には、芽鱗のない裸芽も多い。細かな毛の生えているものも多い。エゴノキ・イヌシデ・アカメガシワなど。

### ● 葉痕ソックリさん

葉がついていた痕を見るのも面白い。ルーペがあるとベター。円形・半円形・三角形と形が多彩なだけでなく、「人面魚」ならぬ「羊面葉痕」など、実にソックリで、ユーモア溢れる自然の造詣には目を見張らされる。オニグルミ＝羊(写真左)、ニセアカシア＝こうもり、シンジュ＝よだれ掛け(写真右)、クサギ＝キウイの断面 などなど。

木々も苦労していることを知り、いっそう親しみをもって、これからの森に向かいあっていきたいと思えます。



## 春の活動予定 副会長 平林 謙三

暖かくなったかと思えばまた雪が降ったり、天候が不安定だった冬が去り、新年度の春がやってきました。17年度の活動予定は正式には4月23日の第3回通常総会の議決を経て決まることとなりますが、一応次の様に考えております。

原則は毎月第1土曜日と第3日曜日、当日が雨天の場合は一週間延期する。補助作業日として第2、第4水曜日を当てる。

作業時間は、10時から12時となります。

.....

4月2日(土) 草刈り、苗木・畑の手入れ  
17日(日) 草刈り、苗木、里芋畑の畝立て  
23日(土) 第3回通常総会  
区役所4階第3会議室 14時～16時

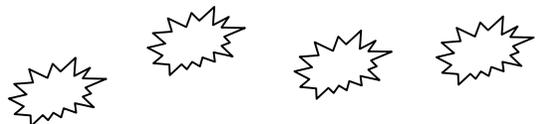
5月7日(土) 里芋の植付け、豆の播種  
22日(日) 麦刈り

6月4日(土) サツマイモの植付け

6月19日(日) 草刈り、苗木・畑の手入れ

.....

その外に4月12、27日、5月11日、25日、6月8日、22日の各水曜日を補助作業日とし、必要に応じて作業をします。



### 広報編集室からのお知らせ

“麻生健康の森”のホームページ立上げを検討しています。お手伝いいただける方、ご連絡をお願いします。

#### 連絡・投稿先

木村信夫 044-954-7855

fwhp6921@mb.infoweb.ne.jp

森 正昭 044-951-1089

BYA15610@nifty.com